



平成 23 年 11 月 21 日

各 位

会 社 名 株式会社アークス
代表者名 代表取締役社長 横山 清
(コード：9948 東証第一部、札幌)
問合せ先 執行役員コーポレート部門担当
古川 公一
(TEL. 011-530-1000)

上場廃止となった子会社（株式会社ユニバース）に関わる決算開示について

当社の子会社 株式会社ユニバースの平成 24 年 2 月期 第 2 四半期決算が確定しましたので、下記の通りお知らせします。

株式会社ユニバースは、当社との株式交換（効力発生日：平成 23 年 10 月 21 日）による完全子会社化に伴い、平成 23 年 10 月 18 日に上場廃止となっております。

なお、株式会社ユニバースは、平成 23 年 10 月 21 日に開催された臨時株主総会において、事業年度を毎年 3 月 1 日から翌年 2 月末日までの 1 年とする決議がなされましたので、当第 2 四半期決算短信より平成 24 年 2 月期と表記しております。

記

・株式会社ユニバース 平成 24 年 2 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

以上

平成24年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）



平成23年11月21日

株式会社 ユニバース URL <http://www.universe.co.jp>
 代 表 者 （役職名）代表取締役社長（氏名）三浦 紘一
 問合せ先責任者 （役職名）財務部長 （氏名）海老原 朗 （TEL）0178(21)1855
 半期報告書提出予定日 平成23年12月6日 配当支払開始予定日 平成23年12月26日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 平成24年2月期第2四半期の連結業績（平成23年4月21日～平成23年10月20日）

(1) 連結経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年2月期第2四半期	53,792	4.1	2,594	40.4	2,667	40.1	1,492	64.6
23年4月期第2四半期	51,691	5.1	1,847	11.5	1,904	10.5	906	△6.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年2月期第2四半期	146.84	—
23年4月期第2四半期	85.48	—

(2) 連結財政状態

	総 資 産	純 資 産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年2月期第2四半期	38,634	25,166	65.1	2,720.00
23年4月期	40,340	25,435	63.1	2,397.83

（参考）自己資本 24年2月期第2四半期 25,166百万円 23年4月期 25,435百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年4月期	—	15.00	—	23.00	38.00
24年2月期	—	18.00			
24年2月期(予想)			—	—	—

（注）当四半期における配当予想の修正有無 : 有
 平成24年2月期の期末配当予想額については未定です。

3. 平成24年2月期の連結業績予想（平成23年4月21日～平成24年2月29日）

平成23年10月21日付で株式会社アークスの完全子会社となりましたので、業績予想の記載を省略しております。

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動：無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

② 会計上の見積りの変更 : 無

② 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	24年2月期2Q	10,607,920株	23年4月期	10,607,920株
② 期末自己株式数	24年2月期2Q	1,355,559株	23年4月期	137株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	24年2月期2Q	10,163,388株	23年4月期2Q	10,607,823株

【添付資料】

目 次

	頁
1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項.....	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動の概要.....	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	5
3. 四半期連結財務諸表.....	6
(1) 四半期連結貸借対照表.....	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	8
四半期連結損益計算書.....	8
四半期連結包括利益計算書.....	10
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書.....	11
(4) 継続企業の前提に関する注記.....	12
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	12
(6) 重要な後発事象.....	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

① 業績の概要

当第2四半期連結累計期間における北東北3県の経済状況は、東日本大震災からの復旧・復興の動きに合わせ、経済活動全般に反転の兆しが見られるようになった一方で、欧州の債務問題やタイの洪水被害、長期化する円高などの影響もあり、先行き不透明な状況が続きました。

当社主力のスーパーマーケット事業におきましては、原子力発電所事故の影響で、食品の安全性に関する問題が発生したほか、電力使用量の制限を受けるなど、厳しい経営環境が続きました。一方で、大震災後の個人消費の自粛ムードが後退し、消費行動に持ち直しの動きが見られるようになってきたほか、被災地および隣接地域では、復興工事関係者の滞在による需要の増加や残存者メリットも受けられる状況となりました。このような状況の中、当社は、「Customers, our Priority. (私たちは いつでも どこでも 顧客最優先)」の理念のもと、顧客の一層のご支持・ご信頼を得られるよう努めてまいりました。

営業面全般につきましては、顧客に満足していただける店づくりを目指して、商品力の強化と売場の充実に徹底して取り組んでまいりました。特に、当社の強みである鮮度管理を徹底し、安心・安全な商品やお買い得商品の品揃え強化に務めた結果、顧客から一定のご支持をいただくことができました。また、特需期のお盆商戦では節約疲れの反動が一部で見られ、ご馳走需要に適切に対応することができたこともあり、売上面・粗利益面ともに、当第2四半期連結累計期間を通して堅調に推移いたしました。

以上の結果、当社単体の売上高は、全店ベースで前年同期比104.2%となりました。なお、営業状況は、以下の通りであります。

項 目	当社単体 全店 (※)	
	実 績	前年同期比
店 舗 数	47店舗	—
店 舗 売 上 高	52,930百万円	104.2%
来 店 客 数	2,444万人	101.1%
客 単 価	2,165円	103.1%
1 品 単 価	183円	101.5%
平 均 買 上 点 数	11.8個	101.6%
総 買 上 点 数	28,951万個	102.7%

(※) 当第2四半期は新店がなかった為、全店実績＝既存店実績です。

設備投資につきましては、新規出店はございませんでしたが、7月に二戸堀野店（岩手県二戸市）のリニューアルを実施いたしました。その他、35店舗で自動釣銭機を導入いたしました。その結果、当社単体の当第2四半期累計期間の設備投資の実績は、以下の通り

となりました。

店舗名称等	投資額 (百万円)	開店年月
二戸堀野店（リニューアル）	76	平成23年7月
その他既存店舗（什器備品等）	153	—
I T投資	353	—
合 計	584	—

また、当社は、平成23年10月21日付で、株式会社アークスとの株式交換方式による経営統合により、対等の精神でアークスグループの経営に参画し、新たな体制で事業活動を行うこととなりました。株式会社アークス及び当社は、従来の展開エリアを越えて、広く東日本を視野に入れた流通企業グループの形成を目指すとともに、一層の競争力強化を図り、アークスグループ全体の更なる成長と企業価値の向上を目指してまいります。

なお、その他の事業といたしましては、保険代理店業を営むユニバース興産株式会社の業績が、前年同期と同水準の堅調な業績となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、営業収益（売上高＋その他の営業収入）が537億92百万円（前年同期比104.1%）、営業総利益が137億30百万円（前年同期比106.2%）、営業利益が25億94百万円（前年同期比140.4%）、経常利益が26億67百万円（前年同期比140.1%）、四半期純利益が14億92百万円（前年同期比164.6%）となり、増収・増益を達成いたしました。

特に利益面では、当社単体で粗利益率が前年同期より0.6ポイント上昇したことや、経費の抑制に努めた結果、販売費及び一般管理費を前年同期比で100.5%に抑えることができ、売上高の前年同期比104.2%を大きく下回ったことから、営業利益・経常利益は大幅増益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債および純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ、17億5百万円減少し386億34百万円となりました。これは主に、現金及び預金が15億58百万円減少したこと等によるものです。

(負債)

負債は、前連結会計年度末に比べ14億36百万円減少し134億68百万円となりました。

これは主に、借入金合計が5億15百万円、流動負債のその他に含まれる未払金が3億1百万円、未払法人税等が2億70百万円、それぞれ減少したこと等によるものです。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ2億69百万円減少し251億66百万円となりました。これは主に、第2四半期純利益の計上額14億92百万円があった一方、自己株式の取得15億15百万円及び配当金の支払2億43百万円があったこと等によるものです。なお、自己株式については、株式会社アークスとの株式交換効力発生日の平成23年10月21日付で、すべて消却いたしました。

② 連結キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末の連結ベースの現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ15億71百万円減少し、64億69百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況を示すと、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は13億20百万円であり、前年同期に比べて4億10百万円減少いたしました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が8億42百万円増加したこと等の一方、法人税等の支払額が4億39百万円増加したこと、たな卸資産の増加による影響額が3億36百万円、各種引当金の影響額が1億80百万円、それぞれ発生したこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は6億15百万円であり、前年同期に比べて支出が5億77百万円減少いたしました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が3億29百万円増加したこと等の一方、短期の資金運用としての定期預金の預入や投資有価証券の取得等による支出が合計で9億61百万円減少したこと等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は22億75百万円であり、前年同期に比べて支出が14億97百万円増加いたしました。これは主に、自己株式の取得による支出が15億15百万円あったこと等によるものです。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動の概要
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年4月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年10月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,555	6,997
売掛金	97	67
有価証券	605	683
商品	2,208	2,561
その他	1,115	1,019
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	12,582	11,329
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,218	7,934
土地	12,933	12,933
その他（純額）	1,246	1,383
有形固定資産合計	22,398	22,250
無形固定資産		
のれん	119	92
その他	488	427
無形固定資産合計	608	519
投資その他の資産	4,750	4,534
固定資産合計	27,757	27,305
資産合計	40,340	38,634

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年4月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年10月20日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,235	5,039
1年内返済予定の長期借入金	956	734
未払法人税等	1,333	1,062
賞与引当金	973	877
役員賞与引当金	21	7
ポイント引当金	212	240
その他	2,568	2,197
流動負債合計	11,300	10,159
固定負債		
長期借入金	1,424	1,131
退職給付引当金	25	27
役員退職慰労引当金	406	422
資産除去債務	514	520
その他	1,233	1,206
固定負債合計	3,604	3,308
負債合計	14,904	13,468
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,522	1,522
資本剰余金	2,924	2,924
利益剰余金	20,981	22,230
自己株式	△0	△1,515
株主資本合計	25,429	25,162
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6	3
その他の包括利益累計額合計	6	3
純資産合計	25,435	25,166
負債純資産合計	40,340	38,634

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月21日 至 平成22年10月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月21日 至 平成23年10月20日)
営業収益	51,691	53,792
売上高	51,194	53,292
売上原価	38,764	40,061
売上総利益	12,430	13,230
その他の営業収入	497	500
営業総利益	12,927	13,730
販売費及び一般管理費		
役員報酬及び従業員給与・賞与	4,150	4,158
賞与引当金繰入額	763	877
役員賞与引当金繰入額	6	7
退職給付費用	64	56
役員退職慰労引当金繰入額	15	16
法定福利及び厚生費	587	577
販売促進費	831	784
ポイント引当金繰入額	203	240
水道光熱費	929	883
消耗品費	299	349
清掃衛生費	336	338
地代家賃	764	764
減価償却費	802	801
その他	1,324	1,279
販売費及び一般管理費合計	11,079	11,136
営業利益	1,847	2,594
営業外収益		
受取利息及び配当金	19	20
補助金収入	20	20
再商品化委託料精算金	8	4
その他	38	45
営業外収益合計	87	90
営業外費用		
支払利息	24	15
その他	6	1
営業外費用合計	30	17
経常利益	1,904	2,667

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月21日 至 平成22年10月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月21日 至 平成23年10月20日)
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	—	0
違約金収入	1	—
見舞金収入	—	17
その他	0	—
特別利益合計	2	17
特別損失		
固定資産売却損	2	0
固定資産除却損	6	11
投資有価証券評価損	—	2
投資有価証券売却損	—	1
災害による損失	—	1
経営統合関連費用	—	154
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	226	—
その他	0	—
特別損失合計	235	171
税金等調整前四半期純利益	1,670	2,513
法人税、住民税及び事業税	912	1,019
法人税等調整額	△148	1
法人税等合計	764	1,020
少数株主損益調整前四半期純利益	906	1,492
四半期純利益	906	1,492

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月21日 至 平成22年10月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月21日 至 平成23年10月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益	906	1,492
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3	△2
その他の包括利益合計	△3	△2
四半期包括利益	902	1,490
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	902	1,490
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月21日 至 平成22年10月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月21日 至 平成23年10月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,670	2,513
減価償却費	802	801
のれん償却額	27	27
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	91	△95
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△3	△13
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	14	27
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	1	2
前払年金費用の増減額 (△は増加)	4	△2
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	14	16
受取利息及び受取配当金	△19	△20
支払利息	24	15
投資有価証券売却損益 (△は益)	0	1
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	2
固定資産売却損益 (△は益)	1	△0
固定資産除却損	6	11
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	226	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△8	30
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△16	△352
仕入債務の増減額 (△は減少)	△240	△196
その他	△1	△158
小計	2,595	2,611
利息及び配当金の受取額	5	10
利息の支払額	△23	△15
法人税等の支払額	△846	△1,285
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,730	1,320
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△500	△903
定期預金の払戻による収入	—	800
有価証券の売却及び償還による収入	—	100
有価証券の取得による支出	△104	—
有形固定資産の取得による支出	△356	△685
有形固定資産の売却による収入	22	0
無形固定資産の取得による支出	△60	△51
投資有価証券の取得による支出	△282	△0
投資有価証券の売却による収入	2	80
差入保証金の差入による支出	△10	△5
差入保証金の回収による収入	94	50
その他	1	△2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,193	△615
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	100	—
長期借入金の返済による支出	△719	△515
自己株式の取得による支出	△0	△1,515
配当金の支払額	△158	△244
財務活動によるキャッシュ・フロー	△778	△2,275
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△241	△1,571
現金及び現金同等物の期首残高	6,133	8,041
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,892	6,469

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月21日 至 平成23年10月20日）

自己株式の取得

当社は、当第2四半期連結会計期間において、取締役会決議に基づき、自己株式を1,355,400株、1,515百万円取得いたしました。なお、当第2四半期連結会計期間末における自己株式は1,355,559株、1,515百万円となっております。

(6) 重要な後発事象

当第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月21日 至 平成23年10月20日）

自己株式の消却

当社は、平成23年9月7日開催の取締役会において、会社法第178条の規定に基づき自己株式を消却することを決議し平成23年10月20日時点で保有していた以下の株式につき、平成23年10月21日付で消却を行っております。

自己株式帳簿価額	1,515百万円
株式の種類	普通株式
株式数	1,355,559株